

松山の自転車環境について考える

松山自転車ワークショップ

実施結果

2010.10.31(日)
9:00~15:00

PROGRAM

- 9:00 開会
9:30 【第1部】現地調査
・自転車で走行しながら現地を点検
12:00 昼食
【第2部】グループミーティング
13:00 ・現地調査を振り返って
・道路の走りやすさを評価
・調査結果の発表
15:00 閉会

自転車に乗って地図を作ってみませんか？

国土交通省松山河川国道事務所
松 山 市

1. ワークショップ概要

(1) 開催目的

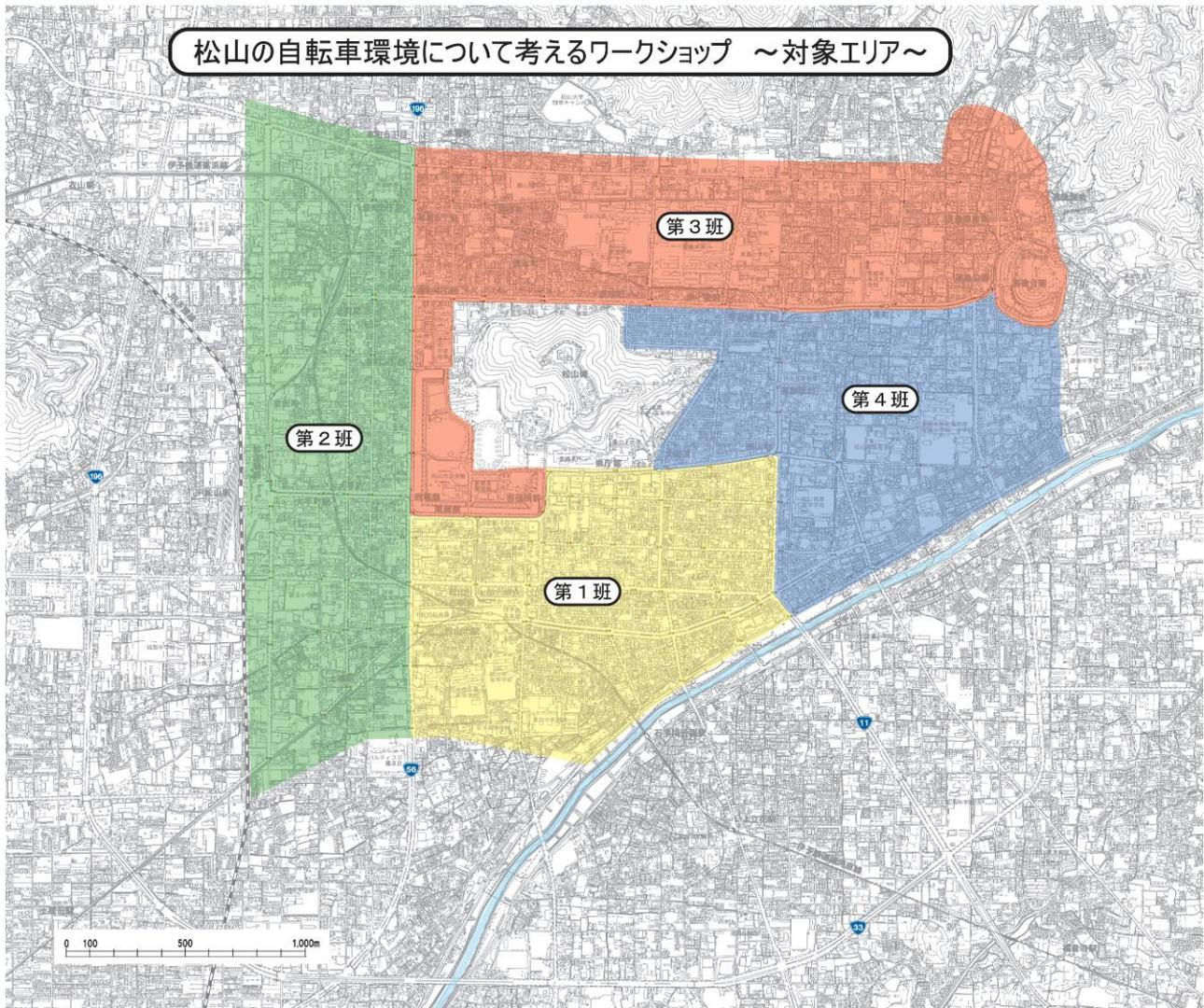
松山市は温暖な気候と平坦な地形という自然条件に加え、松山城を中心として官公庁、企業、学校、商業施設、観光施設など都市機能が都心地区に集積することから、多様な移動目的による自転車の利用率が非常に高い都市です。しかし、一方で、自転車の通行帯はわずか 1.8km しかない状況で、自転車の良好な走行環境の形成が求められているところです。

また、松山市が目指す、「過度に自動車に頼らない総合交通体系」を実現するためにも、自転車にやさしいまちづくりを進め、より一層自転車の利用率を高め、地球温暖化防止や渋滞緩和・解消に寄与することが必要となっています。

こうした状況を背景として、本ワークショップは、別途予定されている「都市の制約条件を踏まえた自転車交通ネットワーク社会実験」の一環として、一般市民の参加のもと、市内を自転車で実際に走行して、一般道路利用者の視点からの道路の走りやすさを点検するとともに、点検結果を踏まえて評価を行い、自転車の走りやすさマップを作成することで、広く一般への情報提供と意識啓発を図ることを目的として実施するものです。

(2) 実施概要

開催日時	平成22年10月31日(日) 9:00~15:00 ※雨天等の場合は、平成22年11月3日(水・祝)に順延。	
開催場所	(現地調査)松山市中心部(城北地区、城南地区、城東地区、城西地区) (意見交換)松山市役所 9F 9-1 会議室	
主催者	国土交通省 松山河川国道事務所、松山市	
主催者挨拶	国土交通省 松山河川国道事務所 五十川所長	
運営	NPOまちづくり支援えひめ外	
参加者	一般参加	12名
	関係機関	愛媛県警 1名
	事務局	松山河川国道事務所 3名 松山市 4名
	スタッフ	NPOまちづくり支援えひめ4名 外5名
	計	29名
配付物	【受付時に配布】 ・資料1：実施要領 ・資料2：携帯用白地図 ・名札 【予め各テーブルに配布】 ・筆記用具等(カラーマジック、サインペン、付箋紙) ・意見記載用大図	



▲ 対象エリア

2. タイムテーブル・進行次第

内容	時刻		事項
集合 説明 (会場)	08:30~09:00	30分	・参加者集合・受付
	↓		↓
	09:00~09:05	5分	● 開会（開会挨拶）
	↓		↓
	09:05~09:10	5分	● オリエンテーション ・全体概要
↓		↓	
	09:10~09:30	20分	● 班別説明・準備 ・班分け、走行エリア・走行ルート確認 ・点検方法（視点等） ・出発準備
↓	↓		↓
調査 (現地)	09:30~12:00	150分	【第1部：現地調査】 ● 自転車で走行しながら現地を点検 ・適宜停止し、気付いたところを写真+メモ（携帯用マップに記載）
↓	↓		↓
昼食	12:00~13:00	60分	● 昼食・休憩 ・昼食 休憩
↓	↓		↓
結果 報告 (会場)	13:00~13:35	35分	【第2部：グループミーティング】 ● 現地調査を振り返って（調査結果の書き出し） ・走行中に気付いた点を、付箋紙に書き出してもらい、地図に添付。 ・グループ内で意見交換
	13:35~14:10	35分	● 道路の走りやすさを評価 ・道路の走りやすさを3段階で評価
	14:10~14:20	10分	● 意見の取りまとめ
	↓		↓
	14:20~14:50	30分	● グループ別発表 ・意見交換結果について、班代表者が発表
	↓		↓
	14:50~14:55	5分	● 総評
	↓		↓
	14:55~15:00	5分	● 今後の予定・閉会（閉会挨拶） ● アンケート
↓		↓	
	15:00		・終了（解散）

3. 全体オリエンテーション

- ・今回のワークショップの目的（ねらい）を説明。
- ・道路評価方法（案）フロー方式による3段階評価方法を説明。



4. 現地調査

- ・参加者24名が4班に分かれて、それぞれ現地に出発。
- ・時折、激しい雨が降る中、対象路線を自転車で走行しながら、歩道幅や道路上の看板・放置自転車の状況、段差状況などを確認し、ランク付けのフロー調査票に記入しながら道路を点検。

現地調査の様子



5. グループミーティング

- ・現地調査での結果を付箋に書き出し、その後、一人ずつ、付箋を大図に張り込みながら、感想や意見を発表。
- ・上記作業が一通り終わった後、各区分について、3段階のランゲを実施。
- ・各班の司会者が、これまでの意見交換の結果を振り返り、再確認を行いながら、自転車マップに記載（情報提供）した方が良いと思われる特記事項や評価結果を整理。

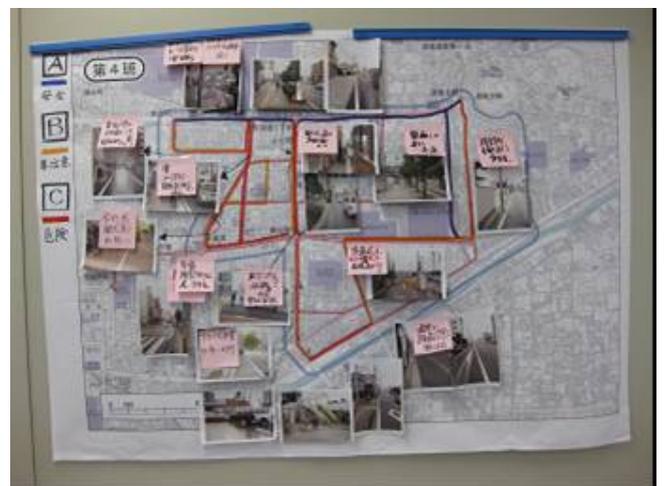
グループミーティングの様子



6. グループ別発表

- ・各グループの代表者が、ディスカッションの結果を発表。

グループミーティングの様子



7. 総評

- ・まちづくり支援えひめ代表からの総評。

総評の様子と結果



8. 今後の予定

- ・今回WSで設定していただいた意見・評価結果をもとに、事務局の方で、全体とりまとめを行いマップを作成する。
- ・第2回ワークショップを11月下旬に開催し、出来上がったマップを基に、ランク評価方法や点検手法について議論を行う。